

## 知事コメント

令和2年9月4日(金)

現在の沖縄県内の感染状況は、改善の兆しが見えるものの、警戒レベルは第3段階にあり、引き続き感染流行期として警戒が必要な状況にあります。

一方で、緊急事態宣言を発出し、県民一丸となって感染拡大防止対策に取り組んだことで、1,000人を超える療養者や600人以上の新規感染者数を記録した8月中旬をピークとし、現在は、収束に向けた道筋が見えてきています。

このことから、本日開催した対策本部において、緊急事態宣言を9月5日を以て終了することを決定いたしました。

緊急事態宣言については、7月31日に発出して以降、2度延長し、県民が本当に一体となって集中的に感染拡大防止対策に取り組んでこられました。県民の皆様におかれては旧盆の時期とも重なり大変なご苦労等があったと思いますが、ご協力に大変感謝申し上げます。

また、この間、全国15道県の皆様をはじめ、厚生労働省、自衛隊等の政府機関の皆様、ジャパンハート等の民間団体の皆様から医療人材等を派遣していただき、沖縄県にとって大変大きな支えとなっただけでした。本当に感謝しております。この医療人材については、当面、9月18日までの協力をいただくことになっております。本当にありがとうございます。

しかし、新型コロナウイルスの感染流行は終わったわけではありません。今後は、感染拡大防止対策と社会経済活動の両立をより強く意識して行動していく必要があります。

県民・事業者の皆様には、引き続き「新しい生活様式」の徹底や「感染拡大予防ガイドライン」の遵守をお願いするとともに、県等が行う感染防止対策に協力をしていただきながら、必要な社会経済活動を行っていただくようお願いしたいと思います。

県としてましては、今後については、これまでの宣言や方針等の包括的な対策ではなく、その時々において特に注意が必要な対策について、「沖縄県新型コロナウイルス感染症注意報」としてピンポイントかつタイムリーに県民の皆様が発信し、社会経済活動への影響を最小限に抑えつつ、注意喚起を行っていきたいと考えています。

そして、PCR検査体制の拡充、保健所の体制拡充、医療人材確保体制の整備、集団感染発生施設等への支援体制整備等に引き続き全力で取り組み、感染拡大防止対策と社会経済活動の両立をしっかりと進めてまいります。

県民一丸となって感染拡大防止に取り組むことで、新型コロナと共存する社会においても、着実に経済活動を回して、平穏な日常を取り戻してまいりましょう。引き続き、県民の皆様、事業者の皆様、あらゆる方々のご協力を心からお願いいたします。